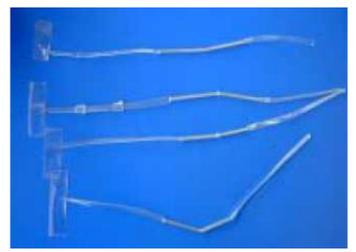




わが国の医療機器の市場規模（生産+輸入-輸出）は、約2兆円ですが、そのうち、輸入の規模は年々増加（平成7年35.5% 平成16年46.4%）しており、国も国際競争力のある医療機器産業の育成に力を入れています。神戸の企業の技術力と、集積された医療スタッフが一緒になって医療機器のメーカーを生み出そうとしています。



～開発済の医療機器例～  
ガットクランパー  
大腸がんの切除手術の際に、大腸をはさんでがん細胞の漏れや転移を防ぐために使用されます。



～開発中の医療機器例～  
放射線治療装置  
がんの動きに合わせて放射線の照射角度が変わります。現在、薬事承認申請中

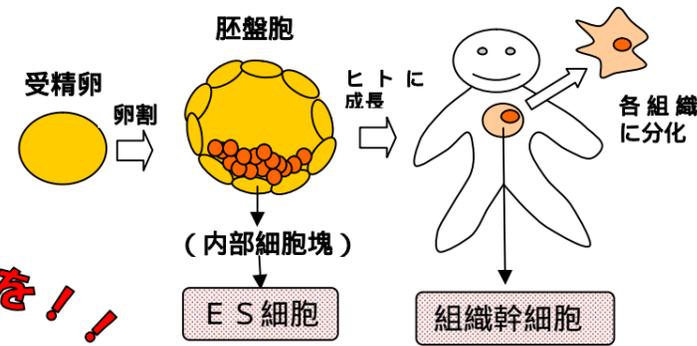
PETを使った、がんの早期発見は知られるようになってきましたが、先端医療センターでは、認知症の早期発見の研究や開発中の鼻炎薬の副作用の検証など、PETを利用した研究や臨床応用も行われています。

再生医療の発展で  
難治の病気にも可能性！



私たちの皮膚は毎日入れ替わっていますよね。血液も周期的に入れ替わっています。こうして入れ替わることができるのは、その細胞を生成する能力を持った細胞「組織幹細胞」が身体の中にあって、必要になれば分化を行い、その組織の細胞になるからです。  
再生医療とは、こういった組織幹細胞やES細胞を利用することによって、これまで難治とされていた病気に治療の可能性を広げます。

ES細胞と幹細胞について



バージャー病  
(手足の末端の血流の障害)の治癒例



医療産業都市の発展を！！

医療を核に、市民が潤い、健康になる街に。  
先端医療が受けられる街、アジアの医療の街を目指して

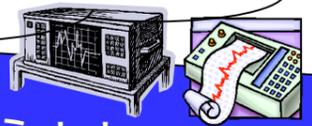
更に、様々な再生医療の研究が行われています。歯槽骨再生や網膜再生、パーキンソン病などに関する神経細胞の再生、インシュリン生成細胞の再生などなど。今後展開されるであろう、再生医療の世界を市民にわかりやすく伝えていきたいと思っています。

健康長寿の街、元気な高齢者の街！！

高度医療の発展と共に、予防医療・介護予防も重要です。健康長寿日本一の山梨県では、長寿と生活の調査を行い、「バランスの良い食生活」や「趣味や地域の活動、労働などの社会的ネットワークを持つこと」が健康長寿に重要であることがわかりました。兵庫県健康財団では、「ごはん・大豆・減塩」に焦点を当てた食の健康運動を進めています。

神戸から医療機器のメーカーを育てよう！！

医療機器メーカーの育成には、どういった支援が必要で、どんな問題点をクリアすべきか、一緒に勉強し、発言していきたいと思っています。



神戸市の医療産業都市のプロジェクトでは、理化学研究所を初めとする医療研究機関や、100社を超える、医療関連の企業が集積しました。



～医療産業都市構想の推計経済効果について～  
(H17年度 野村総研に委託して推計)

構想に伴う市内の雇用増は、医療関連企業・中核機関併せて1922人、インフラ整備に伴う波及効果も併せると2690人、経済効果は409億円と推計されました。更に構想が進展し、企業進出が進むと、H22年度には822億円、H27年度には1624億円の経済効果が得られると予測されています。

100社を超える企業進出、409億円の推計経済効果と、構想は順調に進んでいると言えます。今後の更なる進展のため、国の機関等の誘致や企業誘致に市を挙げて取り組むには、市民理解を得ること、市外投資家へのPRを徹底することが必要です。難しい分野の構想ですが、少しでもわかり易い市民への説明・広報に努め、構想の実現で豊かな街を創り出すことができるよう、議会で活動していきたいと思っています。

医療機関、医薬品メーカーの誘致で豊かな街に！！

～ごはんの効果～  
日本が長寿国である理由のひとつは主食がごはんであること。エネルギーを脂肪で摂りすぎるとコレステロールが高くなり、動脈硬化が起きやすくなります。ごはん食を見直して、子供たちにもっと広めていきたいです。

～大豆の効果～  
世界で大豆を充分摂っている地域では、心臓病死が少ないことがわかっています。大豆の持つ効果で、血圧や動脈硬化を起こす悪玉コレステロール値を下げ、心筋梗塞や脳梗塞を予防しましょう。

～減塩の効果～  
塩分を摂り過ぎると、血管の壁が厚くなり、血管が狭くなって血圧が上がります。食塩は1日10g未満に！！野菜をたくさん摂れば、野菜のカリウムが塩分を体から排出してくれます。山梨でも、野菜たっぷりの郷土料理「ほうとう」を食べている地域では、健康長寿の人が多かったということです。

「ごはん・大豆・減塩」は、科学的な根拠に基づいて提唱されているものです。これを具体的に実現するための、ヘルシーランチプロジェクトを進めていきたいと思っています。また、高齢者の働く場づくりに今後も力を入れて、働くことでの生きがい作りやNPOの立ち上げなどをサポートしていきたいと思っています。山梨県の結果からも、敬老バスを維持していくことは必要と考えます。

～分イメージング研究開発拠点～  
昨年9月にオープンした、理化学研究所の施設。分子イメージングは、ノーベル化学賞受賞の野依先生が提唱された研究プロジェクト。医薬品開発が画期的に効率化される可能性が秘められていて、数多くの製薬メーカーが注目しています。



民主党は川原田弘子さんを神戸市議会議員候補として公認決定しました。市議会議員 川原田弘子さんの政策を紹介します。

# ひろこ倶楽部だより

号外

## ～川原田弘子、これからやっていきたいこと～

### 環境先進都市「こうべ」の実現を！！

循環型社会の実現に向けて、最近では企業も環境に配慮したビジネス、環境によい製品作り、などを行うようになってきました。個人の家庭でも分別・リサイクルが進んできてはいますが、温暖化は進む一方です。山や海を守って、資源を大切に作る循環型社会を早急に作らなければ、私たちの将来世代に、取り返しのつかない負債を残してしまうことになり、経済活動は、お金がたくさん動きさえすればよいもの。お金の動きを環境投資や循環型製品の消費に向けたような政策が必要です。神戸には、基礎となる技術を持ち合わせた中小企業や、新しいものを取り入れてきた気風、そして、消費地に隣接した農業基盤と、実現できる可能性がそろっています。環境によい製品を作る地元企業や循環型のビジネスを展開する企業、自給率を高めて循環型社会の基本となる農業、化石燃料に代わる代替燃料の発展できるような政策を神戸から提言していきたいと思っています。

### そして生まれてくる子供すべてが幸せに！！

そもそも私が議員に立候補しようと思ったきっかけは、働くお母さんを支援しようと思ったことから。神戸市が子育てに力を入れているとはいえ、子育ての現場ではまだまだ。今後もずっと発言していきたいと思っています。私の世代にはちょっと難しかった仕事と子育ての両立、私は、今の世代を支援していきたいと思っています。「男女雇用機会均等法」から20年経った現在、変わってきているとはいえ、まだまだ社会は女性の雇用や仕事のありかたに保守的で可能性を閉ざしているところがあります。一度離職して職場を離れると、次の就職は大変困難です。子どもが小さい間は子育てに専念するという選択をされた方が、次に社会に出たときに困らないような仕組み作りもサポートしていきたいと思っています。「子供を育てるために引っ越してもらえない街」「虐待の無い、すべての子どもが幸せに育つ街」、大きくて大変な課題です。そしていつも心に引っかかっている里親制度の神戸での普及・拡充に努めていきたいと思っています。

### 医療を核に、市民が潤い、健康になる街に！！

今、ポートアイランドでは、「再生医療」という全く新しい分野の医療において、基礎研究と共に臨床研究も進みつつある状況です。人が本来持ち合わせている「細胞や組織を作り出す能力」を研究・引き出すことによって、これまで難治の病気に治療の可能性も芽生えてきました。最先端の医療研究の街には、たくさんの研究者や企業が集まり、これからアジアの医療の街目指して、羽ばたこうとしています。医療を核にして医薬品などの医療関連企業の誘致を図り、市の発展と雇用を増やしていく、市内中小企業の潜在能力を活かして医療産業機器のメーカーに育て上げること、健康をキーワードにした様々なプロジェクトにより、市民が健康に、そして企業に活力が出るように、などなど、市に課せられた夢のある課題は、尽きません。こうした取り組みを市民として誇りに感じ、発展・普及させることに力を注ぎたいと思っています。

### 神戸市議会議員 川原田弘子事務所

〒655-0034  
神戸市垂水区仲田3-1-8-202  
TEL&FAX 078-709-8998  
e-mail; [happy@hiroko-club.com](mailto:happy@hiroko-club.com)  
ホームページ; <http://www.hiroko-club.com>

環境と経済  
が両立する  
社会を目指  
そう！！

女性が安  
心して働  
ける社会  
を！！

先端医療が  
受けられる  
街、アジア  
の医療の  
街に！！

垂水の元気な  
高齢者を活  
かしたNPOの  
立ち上げが  
できないか、検討  
していきたい  
です。

塩屋の町  
にバスを  
走らせたい！！

「食べて健康  
になる」プロ  
ジェクト、垂  
水から発信  
していきたい  
と思っています！！

貴重な垂水  
の海を守っ  
て、伝統あ  
る垂水の漁  
業がこれか  
らも続けて  
発展できる  
ように！！

うつ病対策や高齢化社会での働く場作りには引き続き取り組んでいきたいと思っています。

また、昨年の税制改正や自立支援法の施行など、高齢者・障がい者を取り巻く状況には大きな変化が起きようとしています。新しい制度が施行されても、本当に必要なところに、行政の福祉サービスがきちんと行き届くよう、しっかり見守り、福祉の街・神戸を後退させてはならないと思っています。

# 民主

民主党プレス民主編集部  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話 03-3595-9988(代表)  
[pree@dpi.or.jp](mailto:pree@dpi.or.jp)  
<http://www.dpi.or.jp>

## 先端医療が受けられる街、 アジアの医療の街に。

号外  
川原由版  
No.2



## かわらだひろこ 川原田弘子

### ～経歴～

- 1959年12月 三重県に生まれる
- 1982年 3月 関西学院大学理学部卒業
- 1982年 4月 三菱重工業神戸造船所入社  
システムエンジニアとして勤務
- 1994年 三菱重工労組 女性委員
- 1999年 " 職場委員
- 2002年10月 " 特別執行委員
- 2003年 4月 神戸市議会議員立候補 当選  
民主党県連常任幹事
- 2007年 2月 現在に至る